京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太郎
印刷人　松久紳一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

雜報

國士金玉均氏（九）

（一、國王に上りし書（承前））

亞細亞に於て鬪爭の民族は全國に充滿し勢力をして日に消耗に歸せしむるに至れり方今世界商業を主とし互に產業の多きを競ふの時に當り兩班を除き其弊源を芟盡することを務めざれば國家の廢亡期して俟つべきのみ殿下幸に之れを猛省して速に無識無能守舊頑陋の大臣輔國を黜け門閥を廢し人才を選擇し中央集權の基礎を確定して人民の信用を收め廣く學校を設けて人智を開發せんことを外國の宗敎を誘入して敎化を助くるが如きも亦一の方便ならん（畧）臣と共に難を海外に避くる者共に十餘人皆忠誠愛實なる者なり殿下若し之れを本國に召還し之れを擢用して政事に任ずるに於ては他日國家の用を爲すに足る臣の斷言する所なり（略）其臣を處するに至りては唯無實の罪名を銷除せば則ち天下の公論に從ふものと云ふ可きか臣は天地に矢ひ秋毫も復た榮寵を慕ふの念なし殿下固より能く之れを知るならん又張甲福、地運永豐の如きは之れを死刑に處するを要せず彼豐襟令大罪なきに非らすと雖ども之れをして初めより機隙を得ること能はざらしめなば何ぞ能の惡謀を釀し惡黨を累すに至らん殿下天大の仁愛願はくは臣が愚昧の直言を容れられんことを千万屏營所懇の至りに堪へず（完）

又左の一書を清國の李鴻章に送れりと云ふ

金玉均謹で大清國大學士一等肅毅伯李中堂大人閣下、玉均は朝鮮國の逃士也玉均甲申の冬京城事變の起るに從て小人に亂を作され生命逼迫勢ひ已むを獲ず桑を載せて東奔して日本の江戶に至る實に日本公使竹添進一郎の人の險急を救ふの義氣に賴る是より種々西來の消息を聞くに一派の奸黨機に乘じて私を用ゐ玉均を構誣し甚しきは叛逆の罪ありと爲すに至り吾に讒謗を行ひ紀極する處罔し蛇蝎の毒猶畫さゞるもの有るが如く旋々日本政府に向ひ玉均を捕縛して還

榮山江の養貝案

（某水產技師の談）

▲全南榮山江の沿岸夢灘より下流の西岸に瀕した潟中には無數の蠔貝が棲息して居るけれども韓人が自家用に採收する位である而して此蠔貝を養殖して製造することを日韓人中未だ之を顧みるものがない余の見る所にては蠔貝は軟泥に過ぎたる浮泥質よりも多少砂氣を混して締まり土質を欲するのである殊に潮の流通の好き所が生長に適す現在繁殖する所に於て種貝を育て之を對岸の本流に移殖の研究をすることが尤も必要であると思ふ

▲現に九州有明沿海の如きは古來此貝の本場であつたけれども自然の儘に放任して僅かに產地附近の需用を充すに過ぎなかつたが十年前より熱心之が移殖の途を研究した爲に其の產額昔日に倍加して現今三十萬圓は輸出品となつて居るような實例がある

▲榮山江は韓國の各河川中にて尤も魚類の產出が豐富である殊に春季に於ける赤口鯔の如きは一抔卵子を詰めて居るので之を以て長崎の名產となり居る「カラスミ」の製品と見並べても殆んど本場のに劣らぬ優品である此の鯔を捕る如きは他の魚類を漁獲する時混獲せらるゝので副產物であるから一舉兩得の利がある譯である韓人の漁業として最も發達したるものは投網度干網漁業である此の四五月の頃の漁期に於て土人が數十艘の漁船を以て投網を打ち居る狀ぬは韓國中他に見る能はざる盛觀である其の他此河に於て使用する所の漁具漁法といふものは殆んど神世時代に用ゆる粗拙粗本のもので到底人間の常識にては推測するに苦しむと思はる位である

▲若し此河內に日本人を入れて河川漁業又は養殖業を成立せしむる見込あると思ふ目下對岸の東夢灘の方には日本人が三戶巡查駐在所及び守備隊が居つて合計二十一名の在住者がある住民は農を主とす漁業は副であつて寂しからず趣味は東西夢灘とも肥沃である家族のものは蔬菜を副業として栽培して居る其の種子は日本產を用ひ魚を賣る序に水浦に賣り出すのである目下醫師抔も開業し漸次聽分の發展をして行くだらう

へさんことを要む（未完）

大連築港の工程

（滿鐵當局者の談）

△東西棧橋　大連築港中の主要なる東棧橋建築工事は目下大に進捗し明年秋迄には全部竣成し鐵道をも敷設さるべければ同年の輸出期には充分其の功果を示すに至るべし露國時代に半成せる剛假棧橋も今回岸壁の階段式なるを垂直式に改造することゝなり是れ亦本年中には出來すべし且棧橋附近の水底は更に浚渫して水深五尺を加へ三十尺以上となりたれば其の呑吐力は從前に比し少くも五割以上に上るべし又西棧橋岸壁の階段式をも明年度に於て垂直式に改築さるゝ豫定にて是亦船舶を密接せしめ得るに至るべければ明年度末に至らば大連埠頭の荷役力は倍加して二百万噸に達すべき勘定なり

△北防波堤　當初は露國の計畫を繼承して之れを修築するに止むる筈なりしも騷々として發展の氣運を有する大連の將來を想ひ今回更に六箇年計畫として西方約一里を延長し以て濱町海岸なる突角の築堤に聯結せしむることに改め近々起點兩點より其の工事に着手する豫定なり尙同築堤の中央にはジャンクの交通に便する爲め二三箇所の水路を設け以て護岸一帶をして貨物積卸の功果を增大せしめ同時に小崗子方面の淺所より流入する結氷をも防止せん計畫なり云々

講談

越後傳吉

大岡政談　第四十回　旭堂南陵講

傳『其時丁度れ梅は不在でしたが、暫くしてから歸つて來て庄賜さんの何のと大聲で言つてる處に私が火鉢に座つて居るのを見て今更の樣に顔を赤くして柱に凭たれて默つてしまつた處何だか怪しいと思つてれりました 與『フーム、そうですか夫れで昨夜れ前が樣金の事を話した時はれ阿母さんとれ梅の外には誰れもれりませんでしたか 傳『ハイ、誰れもをりませんでして 與『夫れで大概分りました、此間魔の與兵衛が昨夜で睨んだ奴だ此方は大丈夫心配しなさんな 傳『有難うございます、一寸御尋ね申しますが今朝金を受取りに參りました彌藤次といふのはそういふ人相の男でございましたか 與『眼のギョロッとした頭の毛の濃い、鼻も尋常だ只一寸眼に立つたのは口が大きい 傳『ハイ 與『それから眉毛はさうですね甚く濃くもなし薄い方で 傳『ハイ 與『マアこりやア當人の人相だが、身体がシャッキリした人間だよ 傳『ハイ 與『只一ッの目標といふは、れ前さんとこの村方に三十二から三十五ぐらゐの者で鋤鍬摑まん者は一人もねへだ、皆百姓してる 傳『さうでございます 與『その男ばつかりは鋤鍬摑んで居ねへ、ちやアれ金をといつて渡したのは乃公だ、有難うと云つて手を出した時に乃公アヒョイと見た、深爪取つて手爪先の綺麗な男だ、手の皮なんぞが柔かい 傳『ハイ 與『平生野良仕事をしねゝへ人間だ 傳『ハイ 與『宜いかね、さうさね歩き振と腰附を乃公ア睨道にジロッと見たんだ、田舎者の割には大分氣の利いた人間だつた、この野郎怪しいと思つたもんだから、實は閻魔與兵衛も證文と櫛があるから據ろなく渡したもの〻、餘りに取りに來やうが早いだけにマア氣を注けて野郎の後姿まで見て置いたが、歩きッ振は腰が坐つてるから、平生腰に何か差してるね年中道中してるから道中刀を差てるといはうか刀の一本ぐらゐは年中差して居やうといふ腰附だ、大分眼がマア彼方此方へ通ふて居た、百姓おやアがアせんよ、眼の通ひ方は、家へ來ても乃公の面見るかと思つたらキヨロ〳〵と彼方此方へ眼を注けて居たが、さうさね、何か調物でもすると云つたやうな人間と見たんだがさういふ人間はれ前さんの村方に滅多になからう、多勢寶田村になからう一人の人間だらうと思ふんだ、どうです、傳吉どん氣が着きませんか、考へて御覽なさい 傳『ハイう〻やアれ前様いひますがな、私の村方で百姓しねへで手爪先の綺麗で平面で、脊のシッキリした、年中腰に刀でも差して居やうといふ人は庄賜さんしかございませんよ 與『庄賜さんといつたら誰だ 傳『その金借りたと阿母さんがいふてます名主の庄左衛門樣の息子の庄賜樣でがす、郡奉行樣から十手捕繩貰つて探偵で……… 與『ム、違へねへそれだ小旦那決つた探偵々々、ム、、眼の配りやうが違ひます、それだ、その庄賜といふ奴は平生れ前さんとこへ始終來たかね、れ前さんの居る時分から 傳『ハイ、マア私と遠緣でがすが親類筋だからといふので、親父の庄左衛門と二人始終來て居りました 與『庄左衛門てへのは幾歳ぐらゐだね 傳『さうでございます、五十五六でございますかな 與『成程その何かね、れ梅さんが病ひれはやが借金があるといつたのは庄左衛門親子だといつたか 傳『ハイ、色々世話になつたといひました 與『小旦那解めた必らず氣にしなさるなよ、その庄賜てへ奴はれ前さんの女房のれ梅の色男だぜ 傳『へーイ 與『併し乃公が宛然開けて見たやうにいふやうだが、大概話振りや物の樣子情愛で物が分つてるんだ、こりやア事に依つたられはやと庄左衛門といふ爺と密通て居る、庄左衛門といふ爺さんは、女房あるのかへ 傳『ないでがす 與『庄賜もないでせう 傳『ございましねへだ 與『ハ、ーン親子で密通るわい 傳『ハイ 與『小旦那大概乃公の眼の間違はないところでは、れ前樣の義母のれはやと庄左衛門が密通てれ梅さんと庄賜が密通て居る、れ前さんが江戸へ金儲けに行くのも邪魔になるからといふので江戸へ追ッ拂つたんだらう儲けたゝけの金を捲上げてもう一度れ前樣を江戸へ追ッ拂はうといふこいつア親子の奴が共謀だ、庄賜が金を取りに來たんだ、小旦那面白い、中村屋與兵衛は貴方の氣性を殺ぐやうですけれども斯ういふ惡い奴は以後の懲戒に懲して置かなくちやア、不可、乾度金も出ます取押へて御覽に入れませうこりやア事に依つたら却つて雨降つて地固まるだ、その代りに小旦那、今乃公が敎へて上げることを實際に決行てくれぬと不可せん 傳『ハイ、私ア一生懸命でがすから決行ます 與『又乃公がいつたなんてベラ〳〵口外つて下さつちやア何にもならねぇですから 傳『ハイ私イ決行ます、何ういふことをしますだ」





東京電報

日英博の成効

外務當局[illegible]（五日）

不正重役制裁

[illegible]日に不正重役制裁の件に關する建議案を提出せり其の要に會社の破綻續出は本邦經濟界をして今日の不況に陷らしめたる一因たるを失はず政府は宜しく現行法よりも一層罰金の金額を重からしめ場合によりては体刑を附して重役の不正を制裁し矯正の一端たらしむべしと云ふにあり（同上）

出品規則改正

我政府は伊太利萬國博覽會出品規則を改正したり（同上）

▲本年の志願兵數　本年に於ける一年志願兵出願者は總數全國を通じ三千五百餘の多數に達したり（同）

▲氣球と氣象觀測　軍用氣球研究會にては氣球の飛揚に對し氣象及び風の觀測をなす爲め埼玉縣入間郡所澤町に氣象觀測所を設置する事となり本月下旬より建設に着手する筈なり（同上）

雜報

統監夫人の敍勳

韓皇后は本月一日統監夫人多喜子の參內謁見の節動一等瑞鳳章を賜はりたり

練習艦隊の來着

練習艦隊旗艦淺間（裝甲巡洋艦九、七〇〇噸）笠置（二等巡洋艦五、四一六噸）の二隻は豫定の如く昨五日午後五時大連より仁川に入港したるが之より先き橋本副理事官、宮木稅關長、宮舘署長、新聞記者等は艦隊を港外に出迎へ旗艦に八代司令官を訪問して歡迎の意を表したり

阪神と對韓貿易

大阪港に向けて本年一月より六月まで半ヶ年間韓國より輸出したる商品價格總高は四百三十萬五千六百七十一圓なるが昨年の同期は四百八十八萬四千八百七十七圓なれば結局五十八万圓弱の

清の滿洲移民策

[illegible]を奬勵せんとするは數年來の計畫にして昨今の問題にはあらずその目的とする處は滿洲方面の開拓をなさんとするにありされども嘗に黑龍江省湖南湖北における多數の饑民を移住せしめたるもこれ等移民はその期待に反して政府の處置りの宜しきを得ざりしがため不穩の狀あり各所に放浪してその秩序を亂するの虞ありしより外人の抗議により再びこれを送還するの已むを得ざるに至りしが如きことありたり今回の移民策につき如何なる具体的成案を成すや否や明かならざるも要は數年來の計畫を實行せんとするに外ならざるべく而も淸國政府にして能くこれ等の移民に對し適當なる給養便益を計るの途を盡すにあらざればその前途頗る困難なるべし畢竟するに今回の計畫は滿洲における外人の利益に對抗し又は蒙古方面における露國の蒙古政策に備ふるものにあらざるが如し

七月中の京城氣象

七月は梅雨の特兆を現はし低氣壓は絶へず續出し中にも六月北滿洲より東方に徐行せし低氣壓は京城に雨量百五十三耗の多量を測り仁川は八十六耗にして風力十六耗以上に達せり又九日韓國西部より能登沖に出でしものは釜山百二耗木浦百十七耗を降し尙十六、十七日東海北部より南鮮を横りしものは釜山百十一耗木浦百十三耗其他廿日臺灣に突出せしものは平壤百二十二耗元山百三十耗を測りたる等各地とも多大の降水量を見たりされば當地の全月合計は三百七十七耗八に達し平年に超過し昨年の二倍に當り一昨年より百五十二耗五多く其日數は昨年より一日少く平年より二日多し又快晴日數は一日にして曇天日數十九日を計へ日照時數は可照時數に對し僅に百分の三十四に當り既往中の最少量を示せり斯く滋潤なる天[illegible]

[illegible]以て氣溫の上昇遲緩[illegible]度五は平年及昨年よ[illegible]相似たり然れども高低[illegible]月末に至りては雲霧れ[illegible]最高氣溫三十度以上に移り（京城側候所報）

	本年	昨年	平年
[illegible]	七五、四	七五、二	七三、五
[illegible]	二三、五	二四、六	二四、一
最高氣溫	三三、三	三二、八	三二、九
同上起日	卅日	廿三日	隆熙三年廿四日
最低氣溫	一五、九	一五、四	一四、七
同上起日	二日	五日	隆熙二年六日
[illegible]	二二四、九	一六一、九	一四八、七
[illegible]	三七七、八	一六〇、〇	三四五、一
[illegible]	一九	二〇	一七
[illegible]	一	三	一
[illegible]	一九	八	一九
[illegible]	二	三	二

咸北道民間島移住

咸鏡北道鏡城郡附近の韓民の昨年九月以來本年四月に掛け續々として北間島に移住し其の戶數となれるもの千三百〇四戶にも上りたるより近頃內部に於て其原因を取調べたるに從來該地方の韓民は年々露領內に出稼したるに昨年來露領に於ては韓國人を雇傭せざりしと昨年中咸鏡北道に一般に虫害水害等ありし爲めに窮民の地味肥沃なる地方に移住するの必要を生じたると且つは鏡城郡內に於て耶蘇敎徒の租稅納入を拒絕したりしに其の主謀者は投獄せられしのみか此程軍司令部に於て射擊場の設定地を調査したるを見て兵營の建設せらるゝものと信じ不快の念を起したる等に起因せりと云ふ

韓國平和協會紛擾

韓國の政黨其他の團体が經營に窮して紛擾を釀すことは每度なるが最近に組織せられたる韓國平和協會も亦經費不足にて維持に窮し會員中には解散を主張する者あるに對し金宗漢、鄭鳳時などは今自ら解散するは不利益なり近き將來に於て統監府より總べての團體に解散を命ずる筈なれば其の時まで持續すれば必ず相當の涙金を得らるべければ此際二千圓位借財して協會を維持せんと主張し同會の總務沈日澤は借財說に反對を唱へ其ため紛擾を極めつゝあり

赤十字社功勞表彰

韓國に於ける赤十字の業務に對し多年直接間接に奬勵盡力せし其功勞顯著なりと認められ今般本社常議員會の決議により各頭書の通り表彰せられたり

特別社員推薦有功章及賞記　皇后陛下

御歌授與　陸軍大將男爵　大久保春野

有功章賞記御歌

本部副總長特別社員　石塚英藏

同　上

專務參事特別社員伯爵　兒玉秀雄

特別社員推薦　支部長　若本兎三郎

同上　同　秋本豊之進

同上　同　能勢辰五郎

同上　同　松本重敏

日人道府主事の數

本年七月末日現在內部の調査に係る各道郡に配置し在る日本人主事各道別に記せば左の如し

道府別	府郡數	主事配置數
漢城府	〇	八
京畿道	三七	一八
忠淸北道	一八	一三
忠淸南道	三七	一八
全羅北道	二八	一六
全羅南道	二九	二〇
慶尙南道	二九	二〇
慶尙北道	四一	二三
江原道	二五	一一
咸鏡北道	一一	一一
咸鏡南道	一四	一二
平安北道	二一	一四
平安南道	一九	一七
黃海道	一九	一六
合計	三二八	二一九

練習艦隊の歡迎會

橋本副理事官は五日夜八代司令官以上兩艦長其他幕僚を官舍に招待して晩餐會を開きたる筈なるが尙ほ市民一般の同艦隊歡迎會は一兩日中盛大に催す由

愛國婦人會の接待

愛國婦人會韓國本部にては來る六七の兩日入京すべき練習艦隊淺間笠置の乘組水兵に對し景福宮慶會樓に接待所を設け例により茶菓煙草等を供する由

統監の司令官招待

寺內統監は七日午後七時より別項の如く五日仁川入港の練習艦隊司令官以下重もなる將校九名を統監邸に招待し晩餐會を催さるゝ筈なり

夏期講習會の終了

日の出小學校內に於て開會中なりし夏期敎員講習會は四日を以て終了に就き六日修業證書授與式を舉行し會長三浦理事官より一場の挨拶ありて閉會せり

兩新聞の發行停止

釜山に於て發行する釜山日報及び朝鮮時報の二新聞は時局問題に關する記事の爲め發行を停止せらる

高度相の總長訪問

四日午後六時高度支部大臣は倭城臺の官邸に明石警務總長を訪問會談したり

兩書伯揮毫鑑賞

去月三十一日京城ホテルに於て開催したる西澤對竹及び竹哉兩書伯の書畫會に於ては當日炎熱厳しきにも拘はらず雅客雲集[illegible]たる二百有餘の畫幅は殆んど賣約濟となりたるとか氏の筆は頗る雄健其の墨繪の竹の如きは神韻漂渺たるものあり尙ほ兩書伯は旭町二丁目淸水方に滯在して江湖の揮毫に應ずべしと云ふ

永瀧總領事下仁

滯京中の永瀧閩島總領事は六日下仁する筈なるが氏は今を去る十四五年前仁川領事官補たりし縁故あるより同地舊知の人は氏の歡迎會を開催すべしと云ふ

五百木氏の入京

對韓同志會常務五百木良三氏は韓國に於ける時局問題視察の爲四日夜入京京城ホテルに投宿

外人の視たる半島（三）

KOREAN PENINSULA

AS VIEWED BY A FOREIGNER.

一外人記述

▲千九百九年十月半島の恩人たる伊藤公は一韓兇の爲にハルピンの露と消えた、夫以來半島問題最後の解決とか云ふことが日本の官民間に八ヶ間敷なつた、記者は外人の事故第三者として半島問題に關する日本人の輿論を冷靜に傍聽した。

▲パリアメントに於ては總理大臣と議員との間に種々の押問答があつた、而して議員は最後に於て首相の說明を聞いて納得した、思ふにマルキスカツラは議員の腑に落ちる樣問題解決の事を說明したのであらう。

▲夫れから段々日は一日と經過た、ヴワイカウント、ソネは病体到底歸任することが出來なくなつた、後任の詮議が大分六ヶ敷かつた、併し最後に率公心の強いゼネラル、テラウチが相續の事を承諾した。

▲寺內將軍の就任は日本の上下に因つて歡迎された、將軍の手は明日にも半島の始末を附けべく期待された、第三者たる余も傍觀のみでは面白くないと思つた、因つて幸ひの暑中休暇を利用し、寺內統監の赴任に先つて渡韓の途に登つた。

▲七月一日今は昔と異なる下關急行、廿六時間を以て終點に着いた、同乘の客には統監府の官吏某京城の銀行家某米人宣敎師某があつた、此人々等は余の爲に最近の半島事情を詳細に語つて與れた。

▲下關はサンヨーホテルと云ふあまり吸客力の無さソウな家で少憩した後ち關釜連絡中の隨一なる會下山丸と云ふ汽船へ多くの客と一シヨに乘込んだ、船長も事務員も乃至ボーイも皆日本政府の役人であつて余は彼等に物を聞くさへ恐ろしく感じた。

▲會下山丸は日本人の旅客に嫌はれるソウだ、併し外人たる余にはナゼカ其理由が判からなかつた、寢室の暗黑、空氣の不流通、便所の汚穢、浴室の惡臭、廊下のヂメヂメ、食卓の不準備、速力の不足、非常のローリング、會下山の欠點はタッタ之れだけの事だ、只たコレダケの事に本船を嫌ふ日本人は余りに贅澤過ぎる。

▲余は半暗黑なるサルンに在つて、今日は之れ東郷大將で名高くなつた對島海峡を亦も越すのだなと獨り微笑を洩らした、斯るときに余が念頭に浮ぶ疑問はイツも東郷大將の發した「皇國の興廢此一擧にあり」と云ふ號令に就いてだ、ソウしてチルソンなら斯る場合ドンナ號令を出すかと云ふ事だ。

▲突如として入つて來たのが韓國稅關の官吏であつた、余に有稅品は無きかと問ふ、余無き由を答ふれば彼は無言で去つた、彼の無言は彼の英語よりも僅かに能く通じた。

▲登舷を過ぎ對馬を越へ段々釜山へ近くなつた、同船の某君余と共に甲板を散步し、遙かに巨濟島を指しつゝ余の爲に**朝鮮の東郷大將**を說いた。

沿岸航路問題解決

仁川の沿岸航路補助問題は當業者と出願者との間に感情の衝突したる爲め久しく紛擾の間に經過せしが近來經濟界不況の爲め海運業も亦た其影響を蒙り從來沿岸航海に從事したるものも益々損失を重ぬるのみなるを以て當業者も玆に悟る所ありしと共に近來仁川在留の外人にして仁川黃海道九昧浦間の航路を希望せる者ある等大に仁川人士をして沿岸航路の必要なるを醒覺せしめ奧田貞次郎岩崎民長等の調停せるあり旁々出願者中と當局者との感情融和したるを以て四日午後四時より仁川俱樂部に岩崎民長、奧田、加來、慶田、神津、木村、荒木等の各關係者集合の結果木村猪太郎氏該事業を經營し各當業者は同氏の爲めに助勢する事に決し圓滿なる解決を告げたれば相一致して其筋へ補助請願をなすことに決したりと云ふ

韓銀總裁の代理

韓國銀行定期總會の爲め市原總裁上京に就き不在中は水越理事總裁代理として總裁事務並に金庫出納事務を取扱ふ筈

釜山港の貿易減少

▲輸出貿易　本年四月より六月に至る一期間に於ける釜山港輸出貿易價格の總額は百五萬五千二百七十七圓にして之れを前期（一、二、三月）に比するに三十六萬五千余圓を減じ又之を前年同期に比するに二萬四千五百余圓を減少したるが其の原因は大体に於て季節の然らしむるものありと雖も亦農繁期の爲め廻米の減少輸出の不引合大豆の品薄等之れが主因なりと

▲輸入貿易　本期間に於ける輸入貿易價格總高は二百十五萬九百三十四圓にして之れを前期（一、二、三月）に比するに三十一萬千六百余圓を增し尙ほ之を前年同期に比するに十三万八千七百余圓の增加を見たり其理由は時恰も夏物仕入期に當り諸種の雜貨輸入せられたる外夏季需用品なる麥酒、麻布、麥粉及砂糖、精糖等の輸入竝に道用品なる石炭、鐵類、木材、板等の輸入增加しあるに依るものなり

七月中船舶出入數

仁川港に於ける七月中の出入船舶總數は（貿易船）入港七十隻、出港九十二隻にして沿岸航行船の總數は入港九百四十三隻同出港一千〇五十九隻なり今其內譯を記せば左の如し

（入）日本汽船五一帆船七漁船一計五九（同）韓國汽船四淸國ジャンク七計七〇（出）日本汽船四八帆船四韓國汽船三ジャンク三七計九二

沿岸航行船（入）日本汽船一〇帆船二漁船八四〇計八五二（出）同汽船一一帆船一〇漁船八六二計九八一隻（入）韓國汽船二五帆船二漁船五六計八三（出）韓汽船二四帆船一漁船五二計七七ジャンク八

龍山側議員の憤慨

京城民團助役增員の件に付き龍山側議員及皆川、中島氏等の京城側議員の數氏が一致して大村百藏氏を推薦せんとしたるを古城民長は殆んど是非を度外に置きてまでも反對したる爲め海津三雄氏及び龍山側多數の議員は民長が龍山側議員を無視し且つ之れを壓迫せんとする意思なるを忖度するに難からずとて非常に憤慨しつゝありと云ふ

民團納稅の好成績

京城民團第一期納稅額は約八萬圓なるが告知書發行當時は納入手續變更の爲め兎角成績不良の傾向なりしも昨今漸く其手續を周知せられ既に調定額に對し約五万圓の納入ありしと云ふ

仁川韓人市場開場

仁川の韓人市場は愈々六日日韓の紳商を招待して開場式を舉行する筈

公人私人

▲岡十郎（東洋捕鯨會社長）　四日釜山より入京巴城館へ投宿

▲平澤潤次（瓦斯會社重役）　四日釜山より入京天眞樓へ投宿

▲伊藤幹一（瓦斯會社重役）　四日釜山より入京同上

▲高橋直行（平安農銀砂里支配人）　四日開城行

▲上林敬次郎（度支部參政局長）　四日開城行

仁川の衛生設備

▲船舶の檢疫　仁川に於ては本年一月以來只だ三名の赤痢患者を生せしのみにて今の處惡疫流行の兆なきは欣ぶべき事なるが聞く處に依れば芝罘地方にては今や虎列剌病猖獗を極め益々蔓延の模樣なるにぞ同地と密接の關係を有する仁川港は此際嚴密なる豫防方法を講ずるの急務なるを認め先般來出入船舶に對し檢疫を施行し居れり

▲署長の示達　仁川署長宮館警視は五日市內の各衛生組長及各面長洞長を同署に召集して刻下衛生上に關する示達を爲したるが更らに本日は各料理屋及飲食店營業者を同署に召喚して夏季に於ける衛生の注意事項を諭達する筈也

▲醫師の注意　尙ほ市內の各開業醫其他日韓人を合し約三十五名に對し若し吐瀉患者發生の際は速に屆出づべき旨五日仁川署長より夫々通達したり

▲氷店の手續　市內の飲食店にして氷店を兼業せる者あるが右は規則違反にして新に氷店を開かんとする者は一應仁川署に屆出で免許を受け然る後ならでは絕對に營業する能はざる定めなるにも拘はらず市內に右違反者多々ある模樣なれば一々處分すべしと

▲淸潔法施行　市內の大淸潔法は五日より施行せられ每日三區宛來る十一日を以て結了する筈なるが韓人部落にも之と同時に大掃除に着手したり

▲軍醫の調査　小田一等軍醫は仁川に於ける衛生狀態を調査の爲め昨五日龍山より來着せり

▲京城手形交換高▼

八月	金高	枚數
五日	一〇二、七一七、〇六	三〇四

▲治外法權▼

寺內統監が乘込んでから京城の人心が緊たと云ふ者もあれば、また一方には委縮したと唱へる者もある、兎角政策は極端から極端へ行くに因つて始めて效を奏するものだ、假令ばアノ時計のペンデウヲムを見玉へ、今に落附く處へ落附くに違ひないさ▲夫はソウト此頃は內地のドノ新聞もが、半島の記事を多少共掲げて居るようだが、コレハ甚だ必要な事だ、ナニセ帝國の國民たる者は老幼男女れし並して年額金四十餘ゞつゝを半島經營の爲に支出して居るのである、其支出者がせめて統監は誰であるか位を知つて居ることは必要であるのである▲京城民團債を東拓金融部が引受け樣とするのは大間違だ、元來東拓の資金は民團などに使はせべきものではない、統監府が認可しないのは當然の事だ▲三井男の盡力に因つて日露銀行が出來ると云ふ噂がある、モシ本當なら歡迎すべき事だ、百の日露協約よりも一の日露銀行の方が國民同士の接近上有効の事だ、但し無い同士のする事なれば何れは日露兩國限りの不換紙幣でも發行するのであろう▲此頃內地の諸新聞雜誌に各銀行會社の決算報告書が出て居るが、其中資本金の一番多いのが南滿鐵道の二億圓だ、次に各工業會社中配當の一番多いのが鐘紡の一割三分で、各商業銀行中配當の一番多いのが第百の二割五分だ▲釜山を以て東洋のリバプールだ、ハンブルヒだなどと馬鹿な夢を見て居る連中が釜山には幾らもある、コンナ夢を見乍ら騷いで居る連中はイヤにシンショーを耗つて仕舞ふ▲釜山に較べると平壤の人々は餘程着實の樣だ、銀行家が皆ソウ云つて居る。

全羅兩道の水害高

全羅北道に於ける客月二日より同十日までの水害高を聞くに田畑の浸水面積三千二百町歩にして其の被害額は約十六万七千五百余圓なるが內日本人の被害高面積に於て四分の一を占め損害價額に於て一万余圓の打擊を蒙りたりと又全羅南道客月中の水害によりて被る被害高は全北地方に比すれば稍々少くも人畜に於て韓人死者三名家屋崩壞十五同上浸水四百七十四田畑に於て流失四十九町二反歩同上浸水千八百七十七町五反歩道路破壞一ケ所堤防破損個數百四十七ケ所農作物被害面積千三百二十九町一反歩にして此の總被害價額十四萬四千八百六十三圓なりと

命令航路變更回議

釜山汽船會社の經營に係る東海岸線は既報の如く其筋と同社と交渉の結果更に寄港地を增加する事となり農商工部は既に命令變更の立案を了へ目下度支部へ回議中に在り而して度支部に於ても無[illegible]なければ近々決定の上直ちに認可に付し統監の承認を經て發表すべしと

鐵嶺丸遭難者發見

搜索船鄰丸は去る二日黑山島附近に於て[illegible]を發見し[illegible]へ入港し又三日天津に向け航行中の大和丸は七發島沖にて松田助[illegible]



小料理店の集中

▽風紀を紊亂し安眠を妨害す

小料理屋と云ふと甚だ体裁が善いが實は賣春を目的とせる娼家を市中の善良なる商家の間に介在せしむることの好くないと云ふことは度々唱導せらるゝ處で本紙でも兩三度論議したことがある、現在の如く彼れ等の業を一種の正當なる營業として認容したる以上は相當の廣告法、誘客繁昌の手段として諸人の遊興心を挑發するの擧も認めぬ譯にも行かぬ故に於て解釋の相違から鬧かでも濟む不平も聞かねばならぬ如になるのは敷の免れぬ處であるから事を思ひ切つて此れを一所若しくは數箇所に集中して同一取締法の下に羈束したならば手數も省け花柳病毒の傳播をも防ぐに都合よく良家の子女にも惡影響を及ぼさぬことになるであらふ、彼れ等の行爲が如何に良家の子弟に惡影響を與ふるかと云ふに就きて余の見たる實例を擧げると東京吉原に近き下谷龍泉寺町及び淺草千束町田中町邊の兒童――勿論下層民の――遊戯は女郎ごつこである男兒は遊客妓夫車夫等となり女兒は豆どんからおいらん娼妓に扮して實況を現實にして居る醜態見るに忍びないものがあつた、是れは極端なる一例に過ぎないが隱れたる此の種の遊戯は附近到る所に行はれて居ることゝ信ずる一廓を成せる吉原にありてさへ既に然りである當地の如く開放せる所にありては如何であらうた互ひの兒童でサノサ、ラッパ節を唱ひ得ぬものは無らう、而して更らに此の頃の様に暑いと夜は三時から四時位まで素見客と酌婦とがトチ狂ふ此れは又小兒に惡い印象を與へるのみでなく吾々の安眠を妨害する翌日は睡眠が足りない處から然らでもの身體は愈々懶く頭は痛む更らに腹は立つと云ふ事になつて衛生上甚だ危殆の現象が起る、寒い時でも二時過ぎ迄も騷ぎ立てるのだ、良家の妻女や令孃やは彼等に依つて入浴の際なぞは甚だしい侮辱を蒙ることがある、彼れ等は一種の反撥心から他の妻や娘と同浴の際務めて客の噂をする而して更らに聞くに堪ぬ談話を交換すると云ふ風だ風紀の上に及ぼす害毒が斯くの如くなる彼れ等は一所に集中檢束する必要があると思ふ、更に堂々たる統監府所在地の加かも民團役所や警察署の目の前に娼家が軒を列ねて公々然として娼業の發展を圖りつゝあるが如きは何の方面から見ても決して好ましい事ではないのである

常陸山の土産

▽滿洲産の大鷲一羽

東京力士の滿韓巡業は頗る好結果で加之に命も無事で歸る事となつたのは何より以て芽出度い次第で僕の所の與太郎の文句ではないが盗人猛々しい程の次第である一體地方に巡業する力士連は東京の地を一歩踏み出すや否や直に紙片に金額を認め之を若い者に渡して一行の會計主任より給料の前借をするのが例であつて會計主任は其紙片に十圓とあれば二圓位を貸渡して置くと又間もなく借りに來る夫れが嵩んでいつも貸越しとなつて行くのであるが今度一行が釜山に着くと同地人から大歓迎を受けて力士は夫々酒樓へ招かれ饅頭の金品も案外多く貰つたので前借ざころか何れも福々で夫から夫へと興行地を廻るが到る處貢收が多かつたので誰一人前借を申込むものなく元氣に巡業しながら争そふて土地の名産を漁り廻つて居たさい事である左れば留守宅の細君連は其土産を樂みに荷物の中は瑪瑙か硨磲か夫とも珊瑚か鼈甲かと一日も早く一行の歸京を鶴首して待つて居たが實は夫程の土産もなかつた様子で唯元氣が旺盛に見ゆるのみであつた然るに目下和歌山地方巡業中の常陸山から其自宅に向け大切の品送る新橋へ受取に行けといふ仔細ありげな電報が掛つたので細君は俄に相格を崩し此こそ的切り虎の皮にダイヤモンドが包んであるに相違なし虎の皮の方は關取の獺鼻褌にしダイヤモンドの方は幾個あるか知らないが鳩の卵程のを一つ簪の玉にと若者數名を急がして新橋驛に受取に出すと聽て持込んで來たのは大箱一ツ、扨此中の品は何かと一同寄て集つて開いて見れば思ひ掛けない大鷲一羽、其添手紙には旅順にて顧客より贈與されたるものなれば大切に飼養せよとあつたので一同の驚きよりは近さんの驚き一方ならず他には何もないかへアノダイヤモンドはないかへと何遍も探さしたが無いものは無いと定つて落膽の程氣の毒な斗り、併し其大鷲は頗る大きな珍らしいもので兩翼を延せば七尺にも餘るゆゑ何れも大い／＼と珍しがり毎日牛肉を與て大事にして居る

可愛らしい獅子兒

▽鈴の合圖で寢に就く

本年二月二日京都市立動物園で産れをした兒獅子のうち牡は檻から投げ出されては鈴鹿技手夫妻の手に拾ひ上げられ座敷のなかで育てられて居るが鈴鹿技手は細君と共に我子の如く可愛がつて哺育して居る一日に精肉を三百匁牛乳一升五合宛一ケ月約五十七圓の養育料を支出して育てた甲斐あつて生後百六十日許りで体量十貫目以上園内の豹よりも大きくなつた始めは兒獅子の御學友として二三疋の犬を召集した處が無邪氣な獅子皇子は他愛もなくころころと轉び合つて欣んで居たが日一日と長ずるに及んで腕力を揮つて犬の前足を押つけるので犬は何時もキャン／＼と啼きづめの苦しさを見兼ねて鹿鈴夫人から暇を願ひ出たさうな、兒獅子は鈴鹿氏夫妻に宜く馴れて居るが見知らぬ人が來ると怖ろしい權幕で眼を光らす細君には酷く馴いて一寸でも細君の姿が見へぬとウン／＼と啼きながら探し歩くので細君は硝子障子をしめて姿の見わぬ様な側で針仕事をする一家和樂の光景は誠に不思議千萬である兒獅子は夜になると鈴の音を聞いて寢るものと極めて居るから午後九時に園丁がチリン／＼と鈴を振ると居間に遊んで居た兒獅子は蚊帳の裡の箱に這入つて穩和しくねんねをして朝は四時頃眼をさまして機嫌よく遊び暮して居るさうである

時節柄の大騷動

▽急性腸胃加答兒と判明

仁川本町一丁目延田雜貨店の下女愛媛縣生れの合田はつ(二三)と云ふは一昨四日午前九時吐瀉病に罹り同日午後二時死亡したるが症候餘りに激烈なりしにぞ或は怖るべき虎列拉疑患者にはあらざりしやとの問を起すに至り直に仁川署より數名の警官出張して嚴重なる消毒を施すと共に交通を遮斷し一方右はつの糞便を内部衛生局に廻送して試檢したる結果虎列剌菌を發見せず全く急性腸胃加答兒にて死亡せしものと判明せしかば係官其他一般漸く胸を撫で下したりとは芽出度し

●一杯食た古物商　一昨四日午前九時頃太平町古物商金田南方へ年齡十七八歳の一韓人荷車に菓子空箱三個を積み來り店頭にありし白銅側懷中時計一個(代一圓五十錢)を買取ると稱し所持金なきを以て自宅に行き持ち來るべしと云ひ時計を持ち挽き來りし荷車を置き去りたる儘遂に來らぬにぞ全く詐取せられたるものと認め西部署に屆出たるが該荷車は北米倉町菓子商石井定次郎が盗難に罹りたる旨昨五日屆出に付假下渡したりと

●竊盗犯人の處刑　本月二日の紙上に手傳人夫の竊盗と題し佐賀縣西松浦郡伊萬里町百八十二番戸當時京城光熙門外金慶白方居住藤川熊市(二八)が本年四月永登浦監獄出獄後仁川宮町藤井市太郎方左官手傳人夫に雇はれし以來各所に於て竊盗及横領罪を犯し檢事局に送られし事は既報の通りなるが京城地方裁判所に於て昨五日懲役三年に處せらる

●不埒な氷屋二件　仁川京町一丁目林田庄與三及同二丁目篠崎林太郎は其筋に屆出でず無鑑札にて氷店を營業せしより一昨日其筋より説諭さる▲仁川支那町一丁目須田もとは一昨日京町一丁目長尾鶴吉方より冷藏用の氷を購入し飲料として販賣しつゝありたるを警官に發見され説諭せらる

●惡留守番の處刑　本月二日の紙上に前科者の留守番と題し廣島縣廣島市西遊廓當時旭町三丁目永和商行料理人毛利篤馬(二三)が主人の留守中保管に係る蒲團一組み十二點を横領し檢事局に送られし事は既報の通りなるが昨五日京城地方裁判所に於て懲役一ケ年に處せらる

●南部署長の訓諭　南部署長今村警視は管内料理屋飲食店主八十有餘の者に對し酌婦仲居に對し毎週火曜日に必ず健康診斷を施行する事及び風儀上營業上に付懇諭する所ありたりと

●酌婦の逃亡二件　南大門通り三丁目料理屋福田長松方の酌婦北川きぬゑ(二二)及吉野町料理屋矢野てる方酌婦大西ふさゑ(二三)の兩名は前借金四十圓を踏み倒し去る三日逃亡せりとて其の筋に搜査願出せりと

●迷兒の親ヤアイ　一昨四日午後二時頃南大門通りに年齡四歳位ひの韓女兒迷兒となり居りしに付西部署に保護中にて未だ何處の子なるか不明也

●龍山の赤痢　龍山清水町七二鐵道工場職工村内嘉作(二六)は去三日より赤痢に罹り鐵道避病舍に於て治療中

目と耳

▲浪花館　廣八一座六日の代り番組　梅の由兵衛(此重)玉三(此千代)紙治(仙春)太十(隅照)鳴門(越春)布四(廣八)大切堀川(總掛合)

●麝香撫子種子分讓　麝香撫子は大丈夫なる宿根草にして且つ變化に富める芳香馥郁たるに依り其培養盛なる播種は秋彼岸前後明春早々開花し盆栽又は切り花等最も高尚優美なり今回麝香撫子石竹給種類矢車草、仙人殼、美女撫子、西洋纏斗菜冬咲朝顏等各種稀なる珍奇大々輪のみ尚加ふるに草花培養法をも添ゐ普く分種する由要望者は實費十六錢にて長野縣下高井郡延德村新道橋際北信高井農園に申込めば速に順次送種すると云ふ

●淨土宗青年會講演　明治町淨土宗開教院に於て例の如く六日午後八時より左の講演あり有志の參聽を希望すと
佛教倫理　水谷開教使
史蹟談片　平渡信習

▲平民文園▼

▲近來警察官が全体に叮嚀になつた特に南部署の今村警視は何事にも親切である口の利き方が平民的で君僕と云ふ調子だ然るに某署の一監督部長の如きは前々代からの惡慣習を脱せず惡氣がある譯でもあるまいが少しの事でも怒鳴りつける▲現に或日憲兵特務が邦人名引き渡しの爲めに出頭したるに對し名も聞かず『貴樣何用だ』と怒鳴り付けた▲然るに感心なのは該特務で立腹もせずに叮嚀に頭を下げて居た憲兵でさへアノ位に怒鳴りつけるのだもの人民には何うだらうと思ふと急に恐くなつて逃げて歸つた▲との投書が舞ひ込んだ嘘であれば結構だ(風聞子)▲旭町ケイ／＼樣琵琶の値段ハガキにて御通知下され度稽古用位なれば讓り受たし上等の物は當時不用(永樂町一の六方)●増國)▲モウ賣れました(ケイ／＼生)▲嗚呼アイスクリーム賣り唯さへ暑い今日此頃慣れぬ仕業の辛さへ重げに流汗淋漓たり『團扇賣り風を撒ふて玉の汗』を思ひ出す氣の毒にもあるから買つて遣らうと思へども彼の畠に出來る玉子や牛乳では厭になる(總角生)▲先日の本欄に厄介になつた日の出亭の菊枝の情夫何川とか云ふ男は俺は明法學士の辯護士だから新聞屋が日の出亭の事や俺の事の書いたら告訴してギウギウ云はして行ると云つて居ります(又聞生)▲恐いナア(小僧)▲何んのかのと申す様なもの〻此の暑いのには巡査諸君の勢を多とせずには居られぬ▲話は別になるが統監や何かの通行の際往來止めの時なぞ知らずに通りかゝると不可と止められる『何故ですか』と聞くと『統監が通られるから』とか何んとか云はるれば夫れで濟むものを直ぐに手を出して胸を衝いて『不可んと云つたら不可んのだ』と押し付ける人がある▲斯うなると勢ひ反抗したくなる何んだ此の野郎と云ふ氣になつて飛んだ紛擾を起すことになる此れは何うか深く注意されたいものだ(への字)▲輕便避暑法としては湯屋の流しを以て第一とする(四錢の避暑法)▲鰻も好いが天麩羅も西洋料理も日本料理も支那料理も好い(食道樂)▲詰らぬ投書だナア(小僧)▲浪花館の廣八はナカ／＼上手に語るよ(胴播連)▲屁を放つて臀閉めと云ふことがあるが此の頃の人間には屁を放つて臀も閉めぬものがある困つたことだ(一老人)

今日の運勢

八月六日舊七月朔日九紫　先勝癸卯成△一白●錯誤ある日色情痴情の破れを戒しむ盗害防ぐべし△二黑●仕官就職、請願、談議に吉音信特異を報せん△三碧●諸事手控への事保證引受の煩あり建築勸土に吉△四綠●財産上の爭紛起あり其他康惠△五黃●依頼無心に遭ふあり尚知友の事煩累あり遺失防ぐべし△六白●新事見合せの事建築土木金錢の事吉△七赤●新事見合せの事委任保證事に忌む旅行止まるべし△八白●盛運日なり大抵吉建築土木婚儀共同組合の事に好適△九紫●厄運日なり萬事控へ目の事貸借運盟委托保證に凶(本町五丁目三一館判斷)

●天氣豫報(自五日午後六時至六日午後六時)
南風晴
四日(華氏)　最高温度　八八、三　最低温度　七四、五

●全羅兩道の水害高　全羅北道に於ける客月二日より同十日までの水害高を聞くに田畑の浸水面積三千二百町歩にして其の被害總額は約十六万七千五百余圓なるが内日本人の被害高面積に於て四分の一を占め損害價額に於て一万余圓の打撃を蒙りたり又全羅南道客月中の水害によりて蒙る被害高は全北地方に比すれば稍々少くも人畜に於て韓人死者三名家屋崩壊十五同上浸水四百七十四田畑に於て流失四十九町二反歩同上浸水千八百七十七町五反歩道路破損一ケ所鐵道線路破損個數百四十七ケ所農作物被害面積千三百二十九町一反歩にして此の總被害價額十四萬四千八百六十三圓なりと

●命令航路變更回議　釜山汽船會社の命令航路は既報の如く其筋と同社と交渉の結果更に寄港地を増加する事となり農商工部は既に命令變更の立案を了へ目下度支部へ回附中に在り而して度支部に於ても無論異議なければ近々決定の上直ちに認可に付し統監の承認を經て發表すべしと

●鐵嶺丸遭難者發見　鐵嶺丸は去る二日黒山島附近に於て……へ入港し又三日天津に向け航行中の大和丸は七發島沖にて松田助二郎の死体を發見したるも腐爛甚しく收容する能はざるを以て所持品を殘して水葬に付したり

統監府及諸官衙御用
荷物運搬
引越荷物受負
伊藤組
本町三 電話四〇番
南大門驛 電話七三二番
大和町 電話九四八番
同第二 電話一六〇八番

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番

日本室和食
特等 (三圓五十錢)
一等 (二圓五十錢)
二等 (壹圓八十錢)
三等 (壹圓五十錢)

暑中御伺

弊社東大門製造所新館工場も略ぼ竣成しました……先頃來各地販賣店側より韓國葉を混和せる極低廉の卷煙草を製出する樣の希望が屢々ありましたが何分弊社の製造に就ては日本政府の嚴格なる特命があり韓葉などを混用し又は現在官烟以外のものを製造するには特別に其筋の許可を得たる後にあらざれば着手することが出來ず且つ目下大和、朝日の製造に逐はれて居りますが併し夫々準備中なれば不遠製出して御希望に副ひ得らるゝことと存ます

日本官製煙草

純良トルコ葉製 アルマ
ウエルス
新製品 大和
朝日
ハーピー
チェリー
ピーバー
不二
山櫻
敷島

株式 東亞煙草會社

日本官製煙草滿韓一手販賣特許
韓國總販賣所
京城明治町一丁目
京城販賣所 釜山販賣所
仁川販賣所 平壤販賣所 元山販賣所

釜山元賣捌所 内山直己 追間房太郎 村上元次郎 山田惣七郎 松前才助
木浦元賣捌所 福田又支店 村上直助 松前支店
馬山元賣捌所 濱田七十郎
大邱元賣捌所 松前支店 村上出張所
元山元賣捌所 渡邊牛藏 横山喜太郎 龜谷愛介
清津元賣捌所 植竹商店 龜谷支店 渡邊支店
城津元賣捌所 迫間支店
羅南元賣捌所 横山支店
群山元賣捌所 福田又支店 岡部商店 中柴商店

仁川元賣捌所 河野竹之助 貞安倉吉 鈴木倭 鬼頭象次郎 渡邊友太郎
京城元賣捌所 森久兵衛 高木德彌 前田熊市 久保田虎助 三共商會 福田又支店
平壤元賣捌所 伊藤佐七 板倉金太郎 河野支店 森久支店 鬼頭支店 龜屋支店
鎭南浦元賣捌所 伊藤支店 河野支店 鬼頭支店
新義州元賣捌所 松隈商會
太田特約販賣店 太田原商店
新幕特約販賣店 高木支店
開城特約販賣店 官製烟草開城組合

御待合 紅葉
南大門通三丁目光宣門側
電話一三八一番

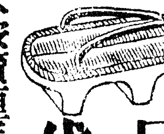
本院は毎日(日曜及祭日を除く外)午前九時より午後四時迄各專門醫に診療を依賴す
但松村先生の診療時間は午後二時より和田先生の診療時間は午前九時より正午迄とす

京城居留民團囑托
龍山榮町文平山麓
龍山醫院
(電話六〇三)

時特約販賣自製
味噌醤油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一一番)
ビール
新茶大賣出し

貨物運送取扱
關税貨物取扱
危險擔保附運送品
代金付貨物運送
貨物引換證發行

内國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話一七〇八番 一七九番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話六二六番 五三七番
龍山出張所 龍山驛構内 電話二〇六番

東京足袋


本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

正札付大安賣 厘毛引なし安心して買へ升

自午前八時至午後九時
京城相生町南門湯横 (電話一二九四番)
京城梅毒病院
●花柳病專門 附痔疾一般
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

きゝめのある
温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りん病、よこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せんき、膓胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を併用すれば尤も効能あり
貸席
京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉
電話千四百十一番

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本商店
京城本町六丁目
電話百拾番

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外預金貸金爲替等普通銀行の業務を精々確實親切に取扱申候
支店出張所
仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、木浦、釜山、群山、馬山、城津、羅南、安東縣、新義州、

爲替取引先
日本 東京、京都、大阪、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、東京新大阪町、大阪西區、松山、廣島、長崎、
韓國 公州、光州、晉州、全州、開城、海州、沙利院、博川、寧邊、義州、咸興、
淸國 大連、遼陽、成興、旅順口、奉天、鐵嶺、長春、牛莊、天津、北京、漢口、上海、
其他外國 香港、桑港、紐育、龍動、巴里、里昂、

韓國銀行

諸官衙御用
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐ヂシン 穀物食鹽 諸染料類

發賣販賣
東京ランバーメ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險株式會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京神崎合資會社特約

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 (電話二三〇番)
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目 (電話新橋三六九二番地十番)

第一銀行京城支店
資本金 一千萬圓
積立金 五百七十五萬圓
明治六年設立
京城南山三丁目
株式會社
電話 一一番 六一一番
振替貯金口座韓國一一番
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島 [illegible]

無比勉强
かやわた
吳服 太物 洋反 蒲團 調進
京城明治町一丁目
唐川商店
電話二六一番
新案特許製綿韓國一手特約店

本店開業拾五ヶ年祝
弊堂開業後滿十五年今日の隆盛は全く各位御愛顧の賜ものに外ならずと確信仕候に就ては感謝の意を表すると共に弊堂の販路擴張の目的にて此際「タバン」懷中時計三千個及び「アンソニヤ」掛置時計三百個を限り四月一日より九月三十日迄本社の命に依り何方樣へも直段にて販賣することゝ相成從つて各位の御便利を計り左記特約店を設置致候間最寄りの店にて續々御購求の程願上度此段廣告候也 敬白
瑞西タバン懷中時計會社韓國代理店
米國ウオルサム時計韓國特約販賣店
米國アンソニヤ掛時計韓國特約販賣店
携帶電燈各種特約販賣店
仁川本町三丁目(電話七〇五番)
時計御商 喜多金光堂本店
京城本町二丁目(電話一〇一五番)
時計御小賣 喜多金光堂支店
京城本町一丁目憲兵分遣所前(電話一三八番)
右特約店 金化堂時計舖
各地方より御注文は發送實費申受候

齒科治療
本町六丁目
ドクトル 中村安子
(数寄屋町電話一五八三)